ひであきレポート

発行：伊藤秀昭事務所
豊橋市東田町西前山144-14

第66号　2版　06新春

今年もよろしくお願いいたします。

　市場万能主義、規制緩和の流れに乗って強者の欲求は肥大化し、新たな階層格差が広がり、「危うさ」も露呈しています。
　「まじめに働く人が報われる社会」のためにはそのセーフティネットを強固にしなければなりません。頑張ります。今年も。

2006年　新春　　　伊藤秀昭

自治体経営の時がきた

　８年前の平成10年3月議会の本会議場で伊藤ひであきは具体的数字をあげて、市長に迫りました。

　「私は豊橋市が行っている事業のなかで民間委託や嘱託で賄えるような事業を拾い出し、コストの比較を行いました。官民の役割を分担し、役所のスリム化を図っていくために試算しました。

（環境事業部）ごみ処理業務などに 248人
（土木部）道路、河川、公園などの維持に 67人
（市民病院）病棟助手、給食調理などに89人
（上下水道局）水道施設やポンプ場などに78 人
（学校教育部）学校用務員、給食ほか189人
合計　670人

　この全員を嘱託化・委託化した場合の単純計算（前提）職員1人当たりの人件費（給与、共済費など）900万円。委託化、嘱託化の人件費を市職員人件費の6割程度とする。

　900万円×670人＝60億3000万円×▲40%＝約24億円

　極めて単純な、乱暴な試算かもしれませんが、年間約２４億円が浮いてくるわけで、このお金を投資的経費に向ければ、豊橋の活性化に寄与できる」と。

　この指摘に答えて早川市長は「市民サービスの維持向上も図られるという観点から積極的に委託化を図って参りたい」と答えた。

　あれから7年、現業職場はどうなったか。

（環境事業部）　・業務課　166人　・施設課49人　・埋立処理課　6人　計２２１人
（建設部）・土木維持事務所　45人
（市民病院）・用務員5人・助手８人　計13人
（上下水道局）・水道20人下水道30人計50人
（教育部）・学校用務員81人・調理員93人　計174人。合計503人と167人減りました。

　それでも上記の全員を嘱託化・委託化した場合（前提）職員１人当たりの人件費（給与、共済費など）820万円（７年間で人件費は約１割縮減）。委託化の人件費を6割とする。

　820万円×503人＝41億2000万円×▲40%＝約16億円（今年度予算書から算出）

　本年３月、国は「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」を示しました、

　豊橋市ではすでに平成８年度から５年間に143項目、227人の人的効果、125億円の経済的効果に及ぶ行政改革を実施してきました。

　また、それ以降も給料表の見直しや、調整手当をはじめとした各種手当の見直し、扶助費などの見直しにも取組み、行政評価システムにも全庁的に確立してメリハリの効いた質の向上にも取組んでいます。

　伊藤ひであきはその論陣の先頭に立ってきました。

　こうした取組みの経過を踏まえ、さらに「市民満足度の向上」をめざした本市独自の「経営改革プラン」を策定し、よりスリムで効率的な市役所へ取組んでいくことになります。

　すでに公の施設133施設を対象にした指定管理者制度の具体化に向けた取り組みも始まっています。また資源化センター余熱利用施設の整備にあたっては民間資本を活用したＰＦＩ導入にも踏み出しています。

　国のスピード感ある改革への取り組みに遅れることなく地方の行財政改革も一気に進めるべきと伊藤ひであきは考えます。

　大胆な市役所改革の時が来ました。

長年の課題いよいよ具体化へ

「競輪場前」電停改修、全面低床車両導入へ！

「豊橋市路面電車活性化推進協議会」は１１月上旬、国土交通省に対し「豊橋路面電車活性化事業計画」を提出しました。

これは国交省が環境にやさしい公共交通機関の利用促進などを目的に取組む新規事業。鉄道会社が地元自治体などとともに協議会を設置し、計画を提出し採択されれば半分は国、県、市の補助が得られ、鉄道事業者は半分の負担で済むことになります。

整備の具体的内容（5年間、5億7千万円）

①危険な停留所の改良【7千万円】
　平成１８年度に「競輪場前」電停を改良
②低床車両の導入【2億5千万円】
　平成１９年度中に１両を導入。
③電停のバリアフリー化【5千万円】
　平成２０年度に実施。札木、市役所前、豊橋公園前、運動公園前
④ＩＣカードの導入【2億円】
　平成２１年度から２２年度にかけて導入し、平成２２年度から稼動する。

「競輪場前」「東田」電停が利用する乗降客にとって安全性が危惧される環境にあり停留所（安全帯）の設置は大きな課題でした。

これまでにカラー舗装や「乗降中」の表示などの対策はとられてきましたが不十分でした。

地域の皆様の長年の要望であり、東田校区を中心に署名運動もなされ、陳情も行われてきました。

また、車両は中古車両であり、高齢者やベビーカーを使う家族連れにとっては乗降時の負担が大きく、低床車両の導入もまた早急な課題でした。今夏にデビューした部分低床車両1両も含め将来は全部で5両の導入を目指します。

長年、「路面電車の活性化」と「安全対策」について議会活動を展開してきた伊藤ひであきの取り組みは「人と環境に優しい公共交通機関の構築」という国の流れと長い間の地域や利用者の皆様の要望とご支援によりいよいよ具体化の時を迎えます。

（→改修が決まる競輪場前電停）

ご存知ですか？！

住民票や印鑑証明書などは電話（市民課51-2272、資産税課51-2229）で依頼しておけば市役所地下１階の夜間休日窓口で受け取ることができます。

受取時間：開庁日の午後５時半～午後９時、閉庁日の午前９時～午後９時
受取方法：予約してから３日以内に予約者が運転免許証など本人確認ができるものを持参し、直接受け取りに来てください。印鑑登録証明書は印鑑登録証も必要。なお交付には手数料が必要です。
利用できる手続き：【市民課】住民票、戸籍謄・抄本、身分証明書、印鑑登録証明書【資産税課】所得証明書、課税証明書、非課税証明書、価格証明書、課税証明書、納税証明書、

朗報！災害時対応の自動販売機が設置

豊橋市とコカ・コーラ社との災害協定により、豊橋市内に「災害時対応型情報伝達機能付自動販売機」が避難所を始め、公共施設などに40台設置されることになりました。

この自動販売機は災害時には音を出し、文字で正確・迅速な情報提供を行います。また災害時には販売機内の飲料水が、応急給水用として活用でき、停電時でも機能を発揮します。

昨年１月「災害時に役に立つこういう自動販売機を豊橋市も設置すべきでないか」と市民の方から寄せられた提案情報が実現したものです。（↓市役所西玄関に設置された自販機）

いつでも、どなたでも
市民相談は伊藤ひであきへ
電話　53-3483
迅速・丁寧・即決

http://www.itouhideaki.com